

令和2年度事業活動実績報告

令和2年度は、コロナ禍の中、公益事業で計画していたJPDA60周年記念事業の多くが開催できず、通常の事業でもリアルからオンライン開催への変更を余儀なくされた。

また、収益事業のアスパック（アジア学生パッケージデザインコンペティション）も全ての活動を休止せざるを得ない状況となり、協会全体で当初の活動計画が大幅に縮小された1年となった。

I. 公益事業報告

(1) パッケージデザインに関する調査・研究及び情報の収集・発信事業

1) 調査研究事業

調査研究成果の発表、及びWebサイト用資料の作成

- ・2018年より「社会課題とパッケージデザイン」を重点テーマに、ワークショップ、研究会を継続的に開催してきた。
- ・本年度は、これら一連の研究成果を発表するべく、2021年2月24～26日に開催されたTOKYO PACK 2021（主催：日本包装技術協会、会場：東京ビッグサイト）のパッケージパビリオンに出展した。展示会開催中のセミナーを活用し、包装業界人に対し「社会の変化と技術の進展に伴うパッケージデザインのあり方、未来に向けての価値」などについての提案を行った。
- ・また、Webサイトでは「パッケージデザイン【情報の森】」内の継続的な記事の更新・追加により積極的な情報発信を行った。

2) アーカイブ事業

- ・本年度は、1985年から実施されている日本パッケージデザイン大賞コンペティションの大賞・金賞作品の収集と資料整理を継続し、JPDAサイトへの作品情報を更新するとともに、過去の大賞・金賞受賞者2名(佐藤昭夫氏、河北秀也氏)へのインタビュー録画：「声のアーカイブ」活動も継続して行った。この録画はWebサイトの会員ページで公開している。
- ・また、日本デザイン団体協議会(D-8)のデザインミュージアム構想に対応するJPDAの資料作成、及び2020年12月に豊島区で開催されたシンポジウムには積極的な協力を行った。
- ・一方、当初計画していた第3回セミナーは「密」を避けるため中止とした。

3) 広報事業

- ・平成30年度にリニューアルした広報誌「JPDA MAGAZINE」は、協会内はもとより協会外への発信ツールとして、本年度も継続して5・6号を発刊した。
- ・これまでは発刊前のイベントを中心にした編集を行っていたが、新型コロナ感染拡大からセミナー・講演会・交流会等が全て中止・延期となったため、5号ではJPDA新役員の紹介、6号ではデザイン教育に携わる会員の方々が紙面でデザイン教育について語るシンポジウム形式の編集とした。
- ・広報誌以外では、協会案内（A4版）と簡易版（小冊子）を外部主催の展示会で来場者に積極的に配布するとともに、各委員会の令和2年度事業スケジュール及び委員会メンバーを紹介する、年間事業カレンダーを6月に制作し、全会員に案内した。

4) インターネット事業

- ・60周年を迎えるにあたり、Webサイトによる情報発信機能の強化、セキュリティの向上、スマートフォンでの対応、情報アクセス性の向上を目指して、令和元年度から進めてきたリニューアルサイトを令和2年6月にオープンした。
- ・リニューアルサイトは以下の5つのサイトで構成され、目的に合わせたアクセスが容易になっているとともに、常に新鮮な情報を掲載できるように更新を心がけている。本年度は経産省等からのコロナ関連の周知事項が目立っていた。
 - ① オフィシャル（公開情報、JPDA大賞、出版物、政府からの周知事項等）
 - ② アクティビティ（セミナー、イベント情報、委員会通信等）
 - ③ ライブラリー（パッケージアーカイブス、デザインの権利と保護、情報の森等）
 - ④ マイワークス（会員作品集、マイページ、リクルート情報等：有料掲載）
 - ⑤ 会員専用ページ（声のアーカイブ、技術・素材情報、会員名簿、会報誌等）
- ・また、会員へのメールによる迅速な報告・連絡と合わせて、SNS活用による一般（協会外部）への情報発信を強化した。

(2) パッケージデザインに関する公募、審査、受賞者の発表、贈賞に関わる事業

1) コンペティション事業：日本パッケージデザイン大賞2021（60周年記念事業）

- ・本年度は60周年記念事業として「日本パッケージデザイン大賞2021」のコンペティションを実施した。応募作品部門は前回同様の13部門とし、応募は前回からスタートしたHPからの応募とするとともに、初めての**画像審査（一次審査）の実現、審査基準・審査員選定**の見直しを進めた。
- ・コロナ禍の中、JPDAホームページ・メルマガ等で全国の会員・非会員に対し幅広い参加を募り、応募締切も約1ヶ月延期したが、前回のような1,200点を越える応募は獲得できなかった。（最終応募者数は827点）
- ・6月の一次審査で420点を入選とした後、8月の二次審査は実物審査の予定であったが、やはり「密」を避けるために、一次審査と同じ画像審査となり、最終的に大賞1点、金賞12点、銀賞11点、銅賞14点、外部の特別審査員賞4点（内2点は銀賞、銅賞とのダブル受賞）を選出した。
- ・その後、2021年2月に金賞以上の受賞者の出席を予定していた**贈賞式も中止**となったが、入賞者に対しては、これまで贈賞式で渡していた賞状・トロフィーに賞名を書いたシールを貼って郵送した。また、画像審査風景・特別審査員へのインタビュー・大賞受賞者と伊藤理事長の対談の動画を制作して配信する予定である。

2) JPDAパッケージデザイン功績賞2020の顕彰

- ・JPDAパッケージデザイン功績賞2020はJPDA専務理事の加藤芳夫氏（前JPDA理事長）が選出された。6月30日の通常総会後に贈賞式と記念講演会を予定していたが、「密」を避けるために延期となり、講演会は令和3(2021)年1月22日のオンライン新年会前に開催された。

(3) パッケージデザインに関する展覧会事業

1) 展覧会事業

(a) 第3回創作展「みらいパッケージ展」（60周年記念事業）

- ・2016年、2018年の創作展に続く第3弾の展覧会「みらいパッケージ展」を、2020年9月に東京で、関西は11月にアジアパッケージデザイン会議(APD)の会場である奈良で開催する予定であったが、いずれも2021年の9月以降の開催に延期となった。

- ・2020年の開催に参加を申し込んだ100名のデザイナーとは、2020年11月と2021年3月の2回、オンライン(zoom)による意見交換会を開催し、コンタクトを継続した。
- ・また、当初の予定通り、2016・2018・2021年の創作展全3回分の作品を掲載する**図録（60周年記念本）**を出版する予定である。

＜第3回創作展の開催スケジュール（2021年3月時点の予定）＞

開催日時：東京展 令和3年9月17日（金）～9月29日（水）（13日間）

関西 未定

開催場所：東京展 渋谷ヒカリエ8/CUBE

関西 未定

(b) 企画展「日本のパッケージ 縄文と弥生のデザイン遺伝子 複雑とシンプル」(60周年記念事業)

- ・前年度より、凸版印刷(株) 印刷博物館との共催で、新たなコンセプトの企画展の準備を進め、2020年8～10月の開催を検討していたが次年度に延期となった。
- ・日本のパッケージデザインは縄文（複雑美）と弥生（単純美）の相反する美意識から生まれるという仮説のもと、東京国立博物館副館長のアドバイスも得て、5つのカテゴリー毎にデザインを「複雑」・「シンプル」の大きく二つに分けて紹介する展覧会となる。

＜企画展の開催スケジュール（予定）＞

開催日時：令和3年8月7日(土)～10月3日(日)

開催場所：凸版印刷(株) 印刷博物館P&Pギャラリー（東京）

(c) 「現代日本のパッケージ展 2020」

- ・2015年より毎年開催しているパッケージ関連3団体の共同企画「現代日本のパッケージ展 2020」※において、後述の60周年記念出版物『**Package Design Index 2020 “Our Best Works”**』より掲載作品22点を「**特集：ロングセラーのパッケージデザイン**」として、パネル展示と合わせて当該商品の現行商品の展示も行った。

開催日時：令和2年10月10日(土)～12月6日(日)

開催場所：凸版印刷(株) 印刷博物館P&Pギャラリー（東京）

来場者数：(事前予約システム) 1,255人、(当日同意書) 1,020人 来場無料

- ・期間中の11月13日(土)には「**ロングセラーのパッケージデザイン**」と題したオンライントークイベントを開催し、展示作品の中から「三ツ矢サイダー 1884年～」、「花王石鹼ホワイト 1890～」、「資生堂オイデルミン 1897～」等の13作品を中心に、その成り立ちや特長、魅力についてトークを行い、ロングセラーの秘密から日本のパッケージデザインの特長まで、多岐にわたるトークショーとなった。

開催日時：令和2年11月13日(土) 18:30～20:00

登壇者：加藤芳夫氏、小川 亮氏、松田澄子氏、山崎 茂氏

参加者数：(事前申込み) 88人 参加費無料

※この展覧会は巡回展として、終了後の令和3年1月18日(日)～1月24日(日)の間、大分県立美術館でも開催された。

(d) 日本パッケージデザイン大賞2021」巡回展（60周年記念事業）

- ・日本パッケージデザイン大賞の入賞作品を展示する巡回展は、これまで審査・贈賞式が終了した4月以降（翌年度）に開催していたが、本年度は60周年記念事業として、年度内の2・3月に以下の2カ所で開催した。いずれもコロナ禍の中にも関わらず、予想以上の来場者があった。

＜TOKYO PACK（主催：公益社団法人日本包装技術協会）＞

開催日時：令和3年2月24日(水)～26日(金) 10:00～17:00

開催場所：東京ビッグサイト

来場者数：1,200人（巡回展ブースのみ 3日間） 無料

＜名古屋 巡回展（国際デザインセンターとの共催）＞

開催日時：令和3年3月10日(水)～15日(月)※

開催場所：名古屋 国際デザインセンター

来場者数：374人（6日間）無料

※期間中の3月13日(土)に入賞者2名のリアルなデザイナートークを開催した。

事前予約制だったが、予定人員(35名)が満席の状態であった。

・次年度も大阪(6月)、富山(10月)、東京(10月～12月)での開催を予定している。

(4) パッケージデザインに関する各種セミナー・育成事業

1) セミナー事業

(a) 東日本：「Talk Café 2020」

・トークカフェ2020は、令和2年の秋以降にリアル開催を目指して準備を進めていたが、新型コロナウイルスの収束が見られないため次年度に延期となった。

(b) 中日本

① 愛知・岐阜地区：「大賞入賞者2名のデザイナートーク」

・「日本パッケージデザイン大賞2021 巡回展」の期間中に大賞入賞者2名のデザイナートークを開催した。

開催日時：令和3年3月13日(土) 14:00～15:30(セミナー)

開催場所：ナゴヤイノベーションズガレージ ナディアパーク・デザインセンタービル4階

講師：小野彩子氏（金賞受賞）、平井秀和氏（銅賞受賞）、伊藤透氏（モデレーター）

参加者数：35人（事前予約制 参加費無料）

② 北陸地区：富山デザインフェア2020

・富山デザインフェアは富山市主催のデザインイベントであり、本年度も「富山の〇〇を包む」というテーマで、県内外のデザインを学ぶ学生からパッケージデザイン作品を公募し、応募作品を展示する学生パッケージデザインコンペティション作品展を開催した。（JPDAは審査員として協力）

・また、本年度は例年開催しているデザインセミナーは実施せず、例年行っている展示（「JPDA北陸地区会員作品展」、「学生コンペ作品展」、「富山県内パッケージデザイン作品展」）に加え、新たに富山市内外でデザインを学ぶ4校の学生が制作した作品の展示も行った。

開催日時：令和2年10月9日(金)～10月11日(日)

開催場所：富山市民プラザ

来場者数：1,383人

③ 北陸地区：「JPDA Talk Café 2020 in 金沢」

・JPDA Talk Café は平成25年度から中日本（北陸）の事業として、金沢、富山を隔年で開催していた。第8回に当たる2020年は10月に金沢での開催を計画していたが、2021年10月に延期となった。

(c) 西日本

① 勉強会「こえる」Vol.1：「AdobeCCで乗り越える！withコロナのクリエイティブ」

・コロナ禍で、これまでの会場に集まっていた勉強会ができなかったため、初めてのオンラインセミナーを開催した。

・今回は初めて試みでもあり、参加者がうまく接続できない等のトラブルが懸念されたため、委員が1カ所に集まって全員でオンラインシステムの技術面でのバックアップを行った。

・セミナーでは前年度にもお願いしたアドビシステムズの岩本氏から、アドビの最新機能やその使い方の紹介、また、デザイン制作作業にそのまま使える便利な機能や時短アイテムの紹介があった。

・交流会では4人テーブルで話ができ、違うテーブルにも移動できるということで概ね好評だった。

開催日時：令和2年7月10日(金) 15:00～16:30(セミナー) 20:00～21:00(交流会)

開催場所：オンライン(セミナー：BlueJeans 交流会：Remo)

講師：岩本 崇氏 (アドビシステムズ)

参加者数：セミナー 87 名、交流会 20 名 (いずれも会員のみ、参加費無料)

② 勉強会「こえる」Vol.2：「オンライン展示会」

- ・JPDA として初めての試みである Remo を使用してのオンライン展示会を開催した。
- ・印刷加工会社、資材メーカー、商社等の出展社が少人数の部屋 (6 人) に分かれて、最新の商品・技術情報について 15 分間のプレゼンを行い、部屋を訪れるデザイナーやメーカーにアピールするという展示会で、プレゼン終了後、デザイナーは他の部屋を訪れることができ、それを 7 回繰り返せるという内容であった。
- ・初めてのトライアルでもあり、運営面での課題も残ったが、高評価をいただいた出展社もあり、今後は全国の法人企業が参加できるイベントにしていきたいと考えている。

開催日時：令和 2 年 11 月 27 日 (金) 14:00 ~ 16:30

開催場所：オンライン(Remo) 参加費無料

出展企業：JPDA 法人会員 10 社

参加者数：40 名 (出展企業、スタッフを除く)

③ 勉強会「こえる」Vol.3：「SNS でつながる発信術」

- ・本年度 3 回目のオンライン開催であったが、SNS を最大限に利用してフォロワーを増やしているお二人の講師に登壇いただき、デザイナーと企業トップという異なった観点から、SNS のメリットや発信するときの留意点などについて語っていただいた。
- ・セミナー後のクロストークでは、フォロワーを大切にすることがフォロワー数の拡大、人と人のつながり、会社と会社とのつながりになっているという、お二人の共通した意見を聞くことができたとともに、今日の SNS における発信力の強さをあらためて痛感させられた。

開催日時：令和 3 年 3 月 5 日 (金) 15:00~15:45 (セミナー)、15:45~16:10 (クロストーク
ファシリテーター 三原理事)、16:15~17:00 (交流会)

開催場所：オンライン(zoom)ウェビナー

講師：佐藤 コージ氏 (コージーデザイン代表 グラフィックデザイナー)、
清水 雄一郎氏 (大阪製罐(株) 代表取締役社長)

参加者数：セミナー 150 人 (申し込み 256 人)

交流会 40 人 (申し込み 79 人)

2) デザイン保護事業

(a) ウェブサイトのデザイン保護コーナーの継続

- ・今期は令和 2 年 8 月 20 日公開の Vol.121 「デザイン業務契約、製品デザイン保護のために/第 3 回知財塾」からスタートし、令和 3 年 2 月 1 日公開の Vol.124 セミナー「ストックフォトを安心して活用するための実践講座」開催のお知らせまでを掲載した。(詳細についてはウェブサイト参照)

(b) デザインの知的財産権保護に関する諸活動の推進

- ・コロナ禍で委員会・セミナー・知財塾の全てがオンラインでの開催となったが、最後の知財塾第 3 回と知財セミナー 1 回を開催した。なお、D-8 デザイン保護研究会は今期は開かれなかった。

・知財塾 第 3 回

JPDA 知財塾は少人数の塾生を募り全 3 回実施の予定で進めてきた。当初は令和 2 年 4 月の開催を考えていたが、コロナの影響で 6 月にオンラインでの開催となった。

開催日時：令和 2 年 6 月 24 日 (水) 15:00~16:30

開催場所：オンライン(zoom)

講師：永芳 太郎 弁理士 (みずの永芳特許事務所 所長)

出席者数：11 人 (欠席 2 人)

- ・知財セミナー 「ピクスタに聞く！ストックフォトを安心して活用するための実践講座」

テーマへの参加者の関心が高く、事前質問6件を含め20件ほどの質問があり活況を呈した。途中で投票機能を用いたクイズコーナーを設けるなど、オンラインならではの、聞くだけでなく飽きさせない内容であった。

開催日時：令和3年3月3日（水） 15:00 ～ 16:30

開催場所：オンライン(zoom)ウェビナー

講師：野口亨子氏（ピクスタ(株)）

参加者数：112人（申込者 142人 一般19人を含む）

3) 教育事業

(a) オンライン デザインセミナー「デザインする場所に意味はあるのか？」

- ・遠距離にある2カ所（名古屋・新潟）で制作活動をしている二人のデザイナーを講師に招き、それぞれが地元で語るという、オンラインならではの新しい試みにチャレンジした。
- ・お二人の仕事の実例や拠点とする地域のお話しを通して、東京のファシリテーターを挟んでタイトルについて対談していくという内容であったが、参加者からリアルタイムでチャットに投稿された質問がとぎれず、予定していた終了時間を1時間ほどオーバーして成功裏に終了した。
- ・コロナによりリモートワーク化が進むこれからの日本において、どこでどのように働いていくのかを模索する参加者に対し、タイムリーで刺激的内容を届けることができたと考えている。

開催日時：令和2年12月4日（金） 18:30～21:00

開催場所：オンライン(zoom)ウェビナー

講師：石川竜太氏（新潟）、平井秀和氏（名古屋）、加藤芳夫氏（ファシリテーター、東京）

参加者数：151人（申込者 209人）

(b) パッケージデザインの学校：オンラインプレセミナー「いい発注と悪い発注」（60周年記念事業）

- ・令和2年6月の開校に向けて準備を進めてきたが、コロナ禍を考慮し次年度に延期となった。4月時点でかなりの申込みをいただいていたので、10月に「いい発注と悪い発注」と題したプレセミナーをオンラインで開催した。
- ・内容は大変好評だったが、参加者が300名を越える、初めての大人数のオンラインセミナーだったため、技術面での運営が大変難しく、今後同様のセミナーを開催するときは外部運営会社の力を借りることも検討する必要があると感じた。

開催日時：令和2年10月30日（金） 18:30～20:00

開催場所：オンライン(zoom)ウェビナー

講師：※メーカー（法人会員）3名、デザイナー（個人会員）2名、司会：小川 亮氏

※メーカー、デザイナーは覆面講師

参加者数：307人（申込者 467人）参加者の半数以上が非会員

(5) パッケージデザインに関する国内・国際交流事業

1) 国内交流事業：「みんなでつなごうデザインの輪！」

- ・本年度の国内交流事業は、JPDAデザイン会議を、60周年記念事業として令和2(2020)年の11月に奈良での開催を検討してきた「APD(アジアパッケージデザイン会議) in NARA (奈良)」と同じ場所・日程で開催するよう計画していたが、コロナの影響でAPDが2021年秋に延期となったこと、また、国内での単独開催も難しかったことから、翌年度に延期することとした。
- ・その代わりに、コロナ禍の中での国内交流企画として、全国の参加者が意見交換できる継続的な交流の場として、会員の事務所をオンラインで訪れる「訪問型プログラム」を実施した。本年度は3回の開催を計画したが、第3回は他のセミナーとの重複を避けるため4/2(金)に延期された。

- ・各回とも終了後に必ずアンケートを取って参加者の反応を把握した。それによれば、開催時間を検討してほしいという意見があったものの、これまではなかなか参加できなかった遠距離からの参加者もあり、「オンラインならではのアイデアでよかった」という評価も多く、次回からの参加意欲も高かったことから次年度も継続する計画である。

<第1回>

開催日時：令和2年11月6日（金） 17:00～18:30

開催場所：オンライン(zoom)

案内人：(株)GK京都 副社長 井上 聡氏【京都】

参加者数：33人 参加費 無料

<第2回>

開催日時：令和3年1月29日（金） 15:00～17:00

開催場所：オンライン(zoom)

案内人：(株)ブラビス・インターナショナル 代表取締役 フミ・ササダ氏【東京】

参加者数 45人 参加費 無料

<第3回>（当初は令和3年3月26日（金）の計画だった）

開催日時：令和3年4月2日（金） 15:00～17:00

開催場所：オンライン(zoom)

案内人：梅原デザイン代表 梅原 真氏【高知】

参加者数 97人 参加費 無料

2) 新年交流事業

(a) 東日本：「2021 オンライン全国新年会」

- ・本年の新年交流会は、パッケージデザイン功績賞2020を受賞された加藤芳夫氏の記念講演の後、2021年JPDA全国新年会を開催したが、コロナ禍の中、全てオンラインでの開催となった。
- ・記念講演では加藤氏の生い立ちから今日に至るまでのパッケージに対する思いや活動について様々な視点から語っていただき、参加者からは楽しく刺激をもらったなど感謝の言葉を多数いただいた。また、第2部の新年会では伊藤理事長の年頭挨拶、井上副理事長の乾杯の後、北海道から沖縄・ジャカルタまで全国10名の方々から地域特性のあるメッセージリレーや、zoomのブレイクアウトルームを利用した少人数での交流を時間入替制で複数回実施した。
- ・オンラインでの交流会・新年会は初めての試みであったが、場所・距離等を感じないオンラインのメリットを体験いただき、新しい交流の形としてまた同じ会があれば参加したいというポジティブな意見が目立った。

開催日時：令和3年1月22日(金) 18:00～20:30

開催場所：オンライン(zoom)

出席者数：第1部 「JPDA パッケージデザイン功績賞記念講演」：126人

第2部 「2021年JPDA全国新年会」：100人

(b) 中日本愛知・岐阜地区：

- ・本年は令和3年3月の「日本パッケージデザイン大賞2021」の巡回展の開催に集中し、新年交流会は実施しなかった。

(c) 西日本：

- ・本年の新年交流会はコロナ禍を意識して前述の勉強会「こえる」Vol.3のみの開催にとどめた。

3) 国際交流事業

(a) APD(アジアパッケージデザイン会議) (60周年記念事業)

- ・APD(アジアパッケージデザイン会議)は韓国・上海・台湾・日本の4カ国・地域で、パッケー

ジデザインについての情報交換と地域交流、さらには各国の作品を展示する展覧会の開催を目的として、隔年、持ち回りで開催してきた。

JPDA 創立 60 周年となる令和 2 (2020) 年は日本がホスト国となり、「Think Design Future」をテーマに、日本の古都奈良で開催するべく、内容検討を進めてきたが、コロナの影響で海外からの渡航ができなくなったことから、本年の開催を令和 3 (2021) 年度に延期することとした。

- ・しかし、令和 3 年の開催も、コロナの完全収束が見込めないと判断し、協会として初めての試みである「オンラインの国際会議」の検討を進めている。また、国内で毎年開催している JPDA デザイン会議も同時期にオンラインでの開催を考えている。

<APD in 2021のオンライン開催スケジュール (予定) >

開催日時：令和 3 年 11 月 18 日(金)

開催場所：zoom (奈良春日野国際フォーラム「麓(いらか)」にコントロールセンターを設置予定)

(b) 「アジア学生パッケージデザインコンペティション」に JPDA 賞を設け優秀作品を顕彰

- ・独立行政法人国際交流基金とアスパック協会が推進するアジア学生交流プロジェクトのパッケージデザインコンペティションでは、JPDA が持つコンペティションのノウハウを活用し日本における作品審査及び贈賞式等の企画・運営を行い、優秀作品に JPDA 賞を贈ってきたが、本年度はコロナ禍の影響でコンペティションそのものが中止となったため、JPDA 賞の顕彰もなかった。

(6) 出版事業

(a) 『年鑑 日本のパッケージデザイン 2021』の出版準備

- ・日本パッケージデザイン大賞 2021 の大賞 1 点・金賞 12 点・銀賞 11 点・銅賞 14 点・特別審査員賞 4 点を含めた入賞・入選作品 420 点を掲載する『年鑑 日本のパッケージデザイン 2021』を令和 3 年 5 月の発刊に向けて企画・編集を進めた。

(b) パッケージデザインインデックス (『Package Design Index 2020 “Our Best Works”』) の出版 (60 周年記念事業)

- ・『Package Design Index』は最新の日本のパッケージデザインに関する作品と技術を網羅し、パッケージとブランディングに関わる作品集であり隔年に発刊しているが、2020 年は日本を代表するパッケージデザイナーの代表作品 455 点を掲載した日本のパッケージデザインベストワーク集 (60 周年記念事業) として、令和 2 年 5 月に発刊にした。

II. 収益事業報告

(1) 収益事業：アジア学生パッケージコンペティション (ASPaC)

これまで、独立行政法人国際交流基金と一般社団法人アスパック協会が推進するアジア学生交流プロジェクトを受託し、JPDA が永く培ってきたノウハウを活用して学生のパッケージデザインコンペティションに関する作品審査及び贈賞式等の企画・運営を推進してきた。

本年度も、JPDA 国際交流委員会・国内交流委員会・展覧会委員会の支援の下、地域を東アジアに拡大してから 6 回目のパッケージデザインコンペティション&贈賞式及び入賞作品の展覧会を開催する計画だったが、新型コロナウイルス拡大の影響を受け、毎年開催で続けてきた**学生のコンペティション**、昨年からスタートしたネーミング・ロゴマーク・グラフィックを 105 分でデザインする「**オリンパック**」を含めた**全ての事業が中止となった**。

次の令和 3 年度も状況の改善が見られないことから、令和元年までのような事業を続けるのが難しいと判断し、3 月末をもってアスパック協会は解散を余儀なくされた。

当面の間、事業の復活や新たな収益事業の可能性を探りたいと考えている。

III. 官庁主催会議及び外部団体との会議並びに事業協力

(a) 内閣府

第4号議案（報告事項）にある通り、令和2・3年度役員改選に伴う内閣府報告に度重なる不備があった。

令和3年4月22日に内閣府公益認定等委員会事務局 審査監督調査官 佐藤氏、政策企画調査官 逆井氏と、JPDA 伊藤理事長、小川理事、飯塚事務局長、渡邊前事務局長が上記の件に関する打合せをもち、第4号議案報告内容を進めることとする。

(b) 経済産業省・厚生労働省

令和2年9月16日 経済産業省 俣野課長、菊地氏と伊藤理事長、渡邊事務局長が面談

令和2年4月～令和3年3月の間、新型コロナウイルス感染症に関する会員への周知徹底依頼が21件あり、協会 Web サイトと会員へのメールマガジンで依頼内容を伝えた。（経産省：支援給付金、イベント開催制限、緊急事態宣言等 厚労省：感染予防、支援助成金等）

また、それ以外にも経産省、中小企業庁からの、ふるさと納税、自殺予防週間等に関する数件の周知依頼に対応した。

(c) ジャパン・ハウス サンパウロ (JHSP)

ブラジルサンパウロにある JHSP（外務省管轄）より、日本・ブラジルの文化交流の一環として「日本のパッケージに関する展覧会」の開催を後援してほしいとの依頼があり、コロナ禍の中だったが、JPDA 大賞入賞作品を中心に展示作品の調達や開催期間中のセミナー講師の紹介等の後援を行った。

展覧会は令和3年1月19日～4月11日までの開催予定であったが、ブラジルでの新型コロナ感染拡大を受けて、3月6日より休館を余儀なくされている。

令和3年2月3日 JHSP でのオンラインセミナーで JPDA 会員の水口氏が講演

令和3年3月18日 JHSP でのオンラインセミナーで伊藤理事長が講演

令和3年4月1日 JHSP でのオンラインセミナーで永田理事、山崎理事がブラジルのクリエイターとのトークセッションに参加

(d) 日本デザイン団体協議会 (D-8)

令和2年5月20日 ジャパンデザインミュージアム設立研究（以下 JDM）委員会（オンライン）に信藤アーカイブ委員会担当理事、柴野委員、松田委員が出席

令和2年7月13日 JDM 委員会（オンライン）に柴野委員が出席

令和2年7月30日 D-8 運営会議（オンライン）に伊藤理事長、渡邊事務局長が出席

令和2年8月21日 JDM 委員会（オンライン）に柴野委員が出席

令和2年9月14日 JDM 委員会（オンライン）に柴野委員が出席

令和2年9月29日 JDM 委員会（オンライン）に信藤理事、柴野委員が出席

令和2年10月5日 JDM 委員会（オンライン）に入江理事、柴野委員が出席

令和2年10月21日 JDM 委員会（オンライン）に柴野委員が出席

令和2年10月26日 D-8 広報委員会（オンライン）に中越インターネット委員会担当理事、佐野委員長が出席

令和2年11月2日 JDM 委員会 分科会（オンライン）に入江理事が出席

令和2年11月10日 JDM 委員会（オンライン）に柴野委員が出席

令和2年12月2日 D-8 責任者会議（オンライン）に伊藤理事長が出席

令和2年12月4日 D-8 広報委員会（オンライン）に中越理事、佐野委員長が出席

令和2年12月11日 D-8 ジャパンデザインミュージアム構想研究発表会 in 豊島区に柴野委員が登壇

令和2年12月25日 JDM 委員会（オンライン）に柴野委員が出席

令和3年1月12日 D-8 責任者会議（オンライン）に伊藤理事長、渡邊事務局長が出席

令和3年1月26日 JDM 委員会（オンライン）に柴野委員が出席

令和3年2月8日 D-8 広報委員会（オンライン）に中越理事が出席

令和3年2月16日 JDM 委員会（オンライン）に柴野委員が出席

令和3年2月17日 D-8 運営会議（オンライン）に伊藤理事長、渡邊事務局長が出席

(e) 外部団体への事業協力

①公益社団法人日本包装技術協会

令和2年7月14日 「2020 日本パッケージングコンテスト」 審査会に伊藤理事長が出席し審査協力

②一般社団法人日本能率協会

令和3年2月16～19日 「オリジナル商品開発 WEEK 『第3回パッケージ×デザイン展』」開催期間中、JPDA 山崎理事、森理事、小川(裕)理事、三原理事、会員の鈴木氏、青木氏がセミナーで講演

③東北経済産業局

令和2年11月2日 「おいしい東北パッケージデザイン展」 審査会委員会に加藤専務理事が出席

令和3年3月8日 「 」のオンライン表彰式に加藤専務理事が出席

④凸版印刷(株) 印刷博物館

令和2年11月13日 P&P ギャラリーで開催された「現代日本のパッケージ展」のオンライントークショーにモデレーターとして加藤専務理事が、また、スピーカーとして山崎理事、小川(亮)理事、会員の松田氏が参加

IV. 名義関連

(1) 後援名義

- ・「日本パッケージングコンテスト」（主催：(公社) 日本包装技術協会）
- ・「第23回 福岡デザインアワード」（主催：福岡県産業デザイン協議会、福岡県）
- ・「インテリアライフスタイル」（主催：メッセフランクフルトジャパン(株)）
- ・「コンテンツ東京2021」（主催：リード エグジビション ジャパン株式会社）
- ・「おいしい東北パッケージデザイン展2020」（主催：東北経済産業局）
- ・「第14回メディア・ユニバーサルコンペティション」（主催：全日本印刷工業組合連合会）
- ・「パッケージング 日本の現代デザイン」（主催：ジャパン・ハウス サンパウロ）
- ・「第60回 2021 ジャパンパッケージングコンペティション」（主催：(一社) 日本印刷産業連合会）
- ・「第31回公募 2020 日本ジュエリー展」（主催：(公社) 日本ジュエリーデザイナー協会）

(2) 協賛名義

- ・「第90回東京国際ナショナル・ギフトショー秋2020」
「東京国際ナショナル・ギフトショー秋2020 第8回 LIFE×DESIGN」
(主催：株式会社ビジネスガイド社)
- ・「オリジナル商品開発 WEEK 『第3回パッケージ×デザイン展』」（主催＝(一社) 日本能率協会）
- ・「第31回 西日本食品産業創造展'21」（主催：日刊工業新聞社西部支社）
- ・「第91回東京国際ナショナル・ギフト・ショー春2021」
「東京国際ナショナル・ギフト・ショー春2021 第9回 LIFE×DESIGN」
(主催：株式会社ビジネスガイド社)
- ・「PAGE 2021」（主催：(公社) 日本印刷技術協会）
- ・「TOKYO PACK 2021-2022 東京国際包装展」（主催：(公社) 日本包装技術協会）
- ・「第92回東京国際ナショナル・ギフトショー秋2021」
「東京国際ナショナル・ギフトショー秋2021 第10回 LIFE×DESIGN」
(主催：株式会社ビジネスガイド社)

(3) 共催名義

- ・「現代日本のパッケージ展2020」（主催：凸版印刷(株) 印刷博物館）

- ・「現代日本のパッケージ 2020 巡回展」(主催：大分市)
- ・「富山デザインフェア 2020」(主催：富山市、運営：富山デザインフェア実行委員会)

(4) 協力名義

- ・「BUSINESS DESIGN EXPO 2020VOL.1」(主催：(一社) 中部広告制作協会、(株)広瀬企画)
- ・「ライティング・オブジェ 2020」(主催＝ライティング・オブジェ制作委員会)

V. 会議開催状況

- (1) 総会 (第 39 回) 令和 2 年 6 月 東京都文京区 東京ガーデンパレス・会議室
- (2) 臨時総会 開催なし
- (3) 定例理事会 令和 2 年 5 月 オンライン
 令和 2 年 7 月 オンライン
 令和 2 年 9 月 オンライン
 令和 2 年 11 月 オンライン
 令和 3 年 1 月 オンライン
 令和 3 年 3 月 オンライン
- (4) 臨時理事会 令和 2 年 4 月 オンライン
 令和 2 年 6 月 東京都文京区 東京ガーデンパレス・会議室
 令和 2 年 12 月 オンライン
- (5) 会員入会審査 令和 2 年 7 月 オンライン
 令和 2 年 11 月 オンライン
 令和 3 年 1 月 オンライン
 令和 3 年 3 月 オンライン
- (6) 各委員会 令和 2 年度中 今期はほとんど全ての委員会がオンラインでの開催となった。
 調査研究、アーカイブ、広報、インターネット、
 コンペティション、展覧会、教育、デザイン保護、
 国内交流、国際交流、出版、アスパック、
 60 周年記念事業 (企画展、パッケージデザインの学校)
 及び地域の各事業で開催

VI. 令和 2 年度会員異動状況

会員別	令和 2 年 3 月 31 日	令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日		令和 3 年 3 月 31 日
		入会	退会	
法人会員	241	3	13	231
個人会員	530	10	22	518
賛助会員	3	1	0	4
合計	774	14	35	753

報告事項

- (1) 令和 2 年 7 月 31 日 内閣総理大臣あて、認定等に関する法律第 22 条第 1 項の規定による令和元

- 年度事業報告及び収支決算書に係わる書類の提出。(電子報告)
- (2) 令和2年11月6日 内閣総理大臣あて、認定等に関する法律第13条第1項の規定による理事、監事、評議員等の変更に係わる書類の提出(電子報告)
- (3) 令和3年3月31日 内閣総理大臣あて、認定等に関する法律第21条第1項の規定に係わる令和3年度事業計画書及び収支予算書の提出。(電子報告)

以上